

令和4年度全国学校保健・安全研究大会開催要項

1 趣旨

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康にも大きな影響を与えている。学校生活においては、メンタルヘルスにかかわる課題、アレルギー疾患、性に関する課題、依存症、感染症など、現代的な健康課題は多様化かつ深刻化している。また、登下校中の交通事故や不審者への対応など、学校管理下における子供の安全と安心確保がますます重要な課題となっている。さらには、東日本大震災をはじめ各地で発生する自然災害等を鑑みた安全教育の充実、熱中症への対応など、新しい課題も発生してきている。

これらの課題解決を図るためには、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進していく必要がある。

本大会は多年にわたる研究成果を踏まえ、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる子供の育成をめざして、学校保健、学校安全に関連する諸課題について研究協議を行い、健康教育の充実発展に資するものである。

2 主題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～多様化する健康課題の解決に向けて主体的に取り組む子供の育成～

3 主催

文部科学省、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、公益財団法人日本学校保健会
岩手県学校保健会

4 期日

令和4年11月10日（木）、11日（金）

5 開催方法及び参加定員

(1) 開催方法 ハイブリッド開催

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等によって、変更する場合がある。

(2) 参加定員

ア 参集参加 先着500人

イ ライブ・録画配信参加 制限なし

※ 録画配信については、大会終了後2週間程度の配信期間を予定

6 開催地及び会場

開催地 岩手県盛岡市

会場 盛岡市民文化ホール（マリオス内）

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1

いわて県民情報交流センター（アイーナ）

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1

7 内容

(1) 全体会

- ・開会式
- ・表彰式

学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。

・記念講演

演題： (仮) 災害などで傷ついた子どもの回復支援と心の健康教育

講師： 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 特任教授 富永 良喜 氏

(2) 課題別研究協議会 (別表)

10 課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。

(3) 全国学校保健会中央大会

8 日程及び内容

【1日目】

11:30		12:00		12:30		13:00		14:00		14:30		16:00	
		一般参加者受付				【開会式】 【表彰式】		休憩				【記念講演】	
受賞者 受付		受賞者 打合せ						【受賞伝達式】					

【2日目】

9:00		9:30		12:00		13:00		15:30	
受付		【課題別研究協議会】 (5課題)		昼食 休憩		【課題別研究協議会】 (5課題)		全国学校保健会中央大会	

9 参加対象者

- (1) 幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導(養護)教諭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当教諭、その他の教職員
- (2) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- (3) 教育委員会、教育事務所の学校保健、学校安全関係職員
- (4) 学校保健会事務局の職員
- (5) PTA会員、その他都道府県・指定都市・中核市教育委員会で適当と認められた者

10 資料代 3,000円 ※参加形態を問わず一律

11 関係団体が主催する行事

- (1) 第53回全国学校保健・学校医大会 令和4年11月12日(土)
- (2) 第72回全国学校歯科医協議会 令和4年11月10日(木)
- (3) 第72回全国学校薬剤師大会 開催中止

12 全体会及び課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会会場

【1日目】令和4年11月10日（木）全体会・受賞伝達式

内 容	会 場
全体会（開会式・表彰式・記念講演）	盛岡市民文化ホール（マリオス内） 大ホール
受賞伝達式（学校保健表彰）	盛岡市民文化ホール（マリオス内） 小ホール
受賞伝達式（学校安全表彰・学校安全ボランティア活動奨励賞）	マリオス 18F 188 会議室

【2日目】令和4年11月11日（金）課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会
 <午前の部> 9:30~12:00（9:00開場）

内 容	会 場
第2課題（保健管理）	盛岡市民文化ホール（マリオス内） 小ホール
第4課題（現代的健康課題）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 7F 小田島組☆ほ〜る
第5課題（歯・口の健康づくり）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 8F 会議室804A
第6課題（学校環境衛生）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 8F 会議室804B
第9課題（教科等における安全教育）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 8F 会議室812

<午後の部> 13:00~15:30

内 容	会 場
第1課題（学校経営と保健組織活動）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 8F 会議室804B
第3課題（心の健康）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 7F 小田島組☆ほ〜る
第7課題（喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育）	盛岡市民文化ホール（マリオス内） 小ホール
第8課題（学校事故防止対策）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 8F 会議室804A
第10課題（関係機関等との連携による安全の体制整備）	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 8F 会議室812
全国学校保健会中央大会	いわて県民情報交流センター（アイーナ） 8F 会議室803

※参加希望人数等により、会場を変更する場合があります。

13 大会会場周辺図

- 鉄道利用 盛岡駅下車、東西自由通路を經由して徒歩約3分
※新幹線ご利用の場合、北改札口から西口バス乗り場方面へ
- 航空機利用 いわて花巻空港到着後、いわて花巻空港アクセスバスで約45分
盛岡駅東口バス乗り場着、東西自由通路を經由して徒歩約3分



〔別表〕 令和4年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健管理	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方 現代的健康課題への対応にあたり、年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。 そのため、生涯にわたり健康を保持増進するための望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について協議する。	① 発達の段階に応じた望ましい生活習慣づくりの進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方 生涯にわたる健康づくりを实践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第1課題	学校経営と保健組織活動	① 神奈川県立保土ヶ谷高等学校 教頭 阿部 志 織	○講 師 愛知教育大学 准教授 山 田 浩 平 ○指導助言者（コーディネーター） 神奈川県立総合教育センター 体育指導センター指導研究課 主幹兼指導主事 齋 藤 祐 介
		② 青森県南津軽郡藤崎町立明德中学校 養護教諭 森 菜 穂 子	
		③ 岩手県二戸市立福岡小学校 指導養護教諭 永 井 悦 子	
第2課題	保健管理	① 北海道枝幸郡中頓別町立中頓別小学校 養護教諭 木野下 珠 紀	○講 師 公益財団法人日本学校保健会 専務理事 弓 倉 整 ○指導助言者（コーディネーター） 長野県教育委員会事務局 保健厚生課 主任指導主事 小田切 優 美
		② 岩手県立宮古恵風支援学校 教諭 千 崎 友 里 子	
		③ 山梨県山梨市立後屋敷小学校 養護教諭 前 嶋 真 理 子	
第3課題	心の健康	① 宮城県仙台市立松陵中学校 養護教諭 及 川 典 子	○講 師 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教 授 十 一 元 三 ○指導助言者（コーディネーター） 福岡県教育庁 教育振興部体育スポーツ健康課 指導主事 宗 真 由 美
		② 岩手県陸前高田市立高田小学校 副校長 中 島 和 孝	
		③ 京都府京都市立紫野高等学校 養護教諭 坂 尾 淳 子	
第4課題	現代的健康課題	① 群馬県高崎市立倉渕中学校 保健主事 花 岡 芳 幸	○講 師 横浜国立大学教育学部 教 授 物 部 博 文 ○指導助言者（コーディネーター） 品川区教育委員会指導課 統括指導主事 唐 澤 好 彦
		② 岩手県立花巻北高等学校 教諭 藤 枝 覚	
		③ 宮城県気仙沼市立九条小学校 養護教諭 齊 藤 綾	
第5課題	歯・口の健康づくり	① 岩手県立大東高等学校 学校歯科医 熊 谷 博 伸 養護教諭 内 舘 優 香	○講 師 公益社団法人日本学校歯科医会 副会長 柘 植 紳 平 ○指導助言者（コーディネーター） 鹿児島県教育庁保健体育課 主任指導主事兼係長 楠 生 勝 宏
		② 鹿児島県鹿児島市立山下小学校 養護教諭 谷 口 由 美	
		③ 秋田県鹿角市立八幡平中学校 養護教諭 安 保 真 美	

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	<p>快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。</p> <p>そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。</p>	<p>① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について</p> <p>② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について</p> <p>③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について</p>
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	<p>近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。</p> <p>そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。</p>	<p>① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について</p> <p>② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p> <p>③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p>
第8課題	学校事故防止対策	事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	<p>学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。</p> <p>また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。</p>	<p>① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について</p> <p>② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について</p> <p>③ 事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について</p>
第9課題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	<p>生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。</p> <p>そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。</p>	<p>① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について</p> <p>② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について</p> <p>③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童の育成について</p>
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について	<p>学校安全体制を充実させるためには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。</p> <p>そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。</p>	<p>① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について</p> <p>② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について</p> <p>③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について</p>

課題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第6課題	学校環境衛生	① 埼玉県立川口東高等学校 養護教諭 村上 有為子	○講師 横浜薬科大学 教授 小出 彰宏 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都教育庁 都立学校教育推進課 課長代理 佐藤 恭子
		② 北海道市立札幌開成中等教育学校 養護教諭 西村 香代	
		③ 岩手県盛岡市立仁王小学校 学校薬剤師 畑澤 昌美 養護教諭 小林 智美	
第7課題	喫煙、 防止教育、 飲酒、薬物乱用	① 福岡県体育研究所 指導主事 大和 忠輔	○講師 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室 室長 嶋根 卓也 ○指導助言者（コーディネーター） 千葉県成田市立玉造小学校 校長 塚本 武
		② 岩手県立宮古商工高等学校 教諭 菊池 満	
		③ 福島県西白河郡西郷村立熊倉小学校 養護教諭 荒井 真紀子	
第8課題	学校事故防止対策	① 独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校安全部 安全支援課 課長 田中文人	○講師 東京工業大学工学院機械系 教授 西田 佳史 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都府中市立府中第二中学校 校長 高汐 康浩
		② 群馬県立藤岡中央高等学校 教頭 新井 康司	
		③ 香川県善通寺市立西部小学校 教諭 津谷 遼平	
第9課題	教科等における安全教育	① 山形県東村山郡中山町立中山中学校 教諭 菅原 和宏	○講師 大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 中井 宏 ○指導助言者（コーディネーター） 徳島県立みなと高等学園 教頭 喜多 泰信
		② 大分県立臼杵支援学校 教諭 北山 昌之	
		③ 岩手県花巻市立宮野目小学校 副校長 野寺 悟 花巻市立宮野目中学校 教諭 佐々木 茉里	
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	① 宮城県石巻市立河北中学校 教頭 小野寺 淳一	○講師 東北大学 災害科学国際研究所 教授 佐藤 健 ○指導助言者（コーディネーター） 岡山県教育委員会 岡山教育事務所 総括参事（生涯学習課長） 木下 史子
		② 福島県立郡山北工業高等学校 教諭 大森 史仁	
		③ 岩手県八幡平市立柏台小学校 副校長 佐々木 寿子	